

経営健全化方針に基づく取組状況(令和2年度)

○法人名 一般社団法人脇野沢農業振興公社

○経営健全化方針を策定した理由:

平成30年度決算において、債務超過額が35,868千円発生したため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標達成年度 (令和7年度)
債務超過額(千円)	35,868	30,885	28,504	0

○主な取組状況(令和3年3月31日現在)

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・主要業務のひとつである農地利用集積円滑化事業の中で、農作物の生産を行っているが、今までは「かぼちゃ」をはじめとして様々な作物を生産してきたが、今後は「そば」の生産に絞っていく。理由として、作物を絞ることによって、機械や労力を集約し、経営の効率化を図る。また、「そば」は転作交付金の対象作物となっているため、今後も安定した収入が見込める。
- ・主要業務のひとつである農地利用集積円滑化事業の中で、毎年、農地の耕起保全管理をしてきたが、この事業を見直した。具体的な改善策として、作付しない農地の耕起保全管理は行わないことにより、人件費をはじめとした諸経費の軽減を図る。
- ・そばの販売額を増やすため、そば粉をスーパー等へ販売する。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・毎年、9月時点での収支を中間報告という形で提出してもらい、経営健全化へ向けて業務が遂行されているかを確認する。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産総額	100,346	107,484	104,130
(うち現預金)	(30,869)	(34,190)	(33,945)
(うち売上債権)	(51)	(103)	(76)
(うち棚卸資産)	(320)	(300)	(272)
(うちその他)	(69,106)	(72,891)	(69,837)
負債総額	136,215	138,368	132,633
(うちむつ市からの借入金)	66,000	66,000	64,000
純資産額	△35,868	△30,885	△28,504

(損益計算書から)

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収益	41,610	45,755	36,265
経常費用	37,805	40,691	33,804
経常損益	3,805	5,064	2,461
経常外損益	△ 1,420	80	80
当期純損益	5,225	4,984	2,381